



12月のおすすめの絵本

12/3より玄関の棚のクリアケースにて掲示します。

貸し出しはご遠慮いただいておりますが、ぜひ手に取ってお子様との大切な時間を共有してみてくださいね。

今月は発表会もあるので、クラスの絵本が発表会の演目の物もいくつかあります♪

0歳児（ひよこ組） 「うずらちゃんのかくれんぼ」

ひよこちゃんとうずらちゃんのかくれんぼのお話です。ひよこや、うずらの身体が周辺の風景と同化しているので、子どもたちと一緒に指差ししながら探して楽しめます。



1歳児（あひる組） 「はたらく くるま」

「はたらく くるま」の曲の軽快なメロディーに乗せて、働く車たちが次々に登場します。町中で実際に見かけたことのある車や乗ってみたい車が出てきます。



2歳児（ぺんぎん組） 「あきのおさんぽ いいもの いくつ？」

お父さんと一緒にお散歩中…。秋の自然をたくさん見つけます。木の実や蝶々、秋のお散歩がより楽しくなりそうですね。



3歳児（ねこ組） 「11ぴきのねこ ふくろのなか」

ねこたちの行く先々に「花をとるな」「橋を渡るな」など禁止の立て札が。でも、ねこたちは、花を取り、危険な橋を渡って、「入るな」と書いてある大きな袋に入り…。



4歳児（とら組） 「ないた赤おに」

村人と仲良くしたい赤おにと、その願いをかなえてやろうと、自分がわるものになる青おに。おにと土の友情を感動的に描きます。



5歳児（らいおん組） 「アラジンと魔法のランプ」

仕立て屋の息子アラジンはなまけもの。父が死に15歳になるのにあそび暮らしています。ある日、おじと名乗る男があらわれて…。



保護者の方向け

おすすめBOOK 「ちょっとだけ」

弟が生まれて、お姉さんになったなっちゃん。お母さんが赤ちゃんのお世話で忙しいので、色々なことを自分一人で行ってみようと思います。頑張るなっちゃんですが、眠くなった時だけは、どうしてもお母さんに甘えたいくなります。お姉さんになったことで感じる切なさ、そしてそれを乗り越えることで成長していく子どもの姿を母親の深い愛情とともに描いています。

